

【表紙】

|            |                                    |
|------------|------------------------------------|
| 【提出書類】     | 四半期報告書                             |
| 【根拠条文】     | 金融商品取引法第24条の4の7第1項                 |
| 【提出先】      | 関東財務局長                             |
| 【提出日】      | 平成24年2月14日                         |
| 【四半期会計期間】  | 第23期第3四半期（自平成23年10月1日至平成23年12月31日） |
| 【会社名】      | 株式会社エイチアイ                          |
| 【英訳名】      | HI CORPORATION                     |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 川端 一生                      |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都目黒区東山一丁目4番4号                    |
| 【電話番号】     | （03）3710 - 2843（代表）                |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役管理部部長 星 和彦                      |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都目黒区東山一丁目4番4号                    |
| 【電話番号】     | （03）3710 - 2843（代表）                |
| 【事務連絡者氏名】  | 取締役管理部部長 星 和彦                      |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社大阪証券取引所<br>（大阪市中央区北浜一丁目8番16号）  |

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

| 回次                                        | 第22期<br>第3四半期<br>連結累計期間      | 第23期<br>第3四半期<br>連結累計期間      | 第22期                        |
|-------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|-----------------------------|
| 会計期間                                      | 自 平成22年4月1日<br>至 平成22年12月31日 | 自 平成23年4月1日<br>至 平成23年12月31日 | 自 平成22年4月1日<br>至 平成23年3月31日 |
| 売上高(千円)                                   | 1,323,526                    | 1,014,609                    | 2,210,432                   |
| 経常利益又は経常損失( )<br>(千円)                     | 135,159                      | 421,864                      | 102,988                     |
| 四半期純損失( )又は当期純利<br>益(千円)                  | 154,334                      | 430,245                      | 76,050                      |
| 四半期包括利益又は包括利益<br>(千円)                     | 163,061                      | 438,682                      | 64,540                      |
| 純資産額(千円)                                  | 1,935,514                    | 1,749,320                    | 2,187,247                   |
| 総資産額(千円)                                  | 2,272,689                    | 2,275,135                    | 2,534,789                   |
| 1株当たり四半期純損失金額<br>( )又は1株当たり当期純利益<br>金額(円) | 5,302.09                     | 13,890.90                    | 2,577.05                    |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期<br>(当期)純利益金額(円)           | -                            | -                            | 2,402.49                    |
| 自己資本比率(%)                                 | 85.2                         | 76.9                         | 86.3                        |
| 営業活動による<br>キャッシュ・フロー(千円)                  | 145,364                      | 307,764                      | 405,762                     |
| 投資活動による<br>キャッシュ・フロー(千円)                  | 254,324                      | 176,146                      | 298,559                     |
| 財務活動による<br>キャッシュ・フロー(千円)                  | 384,628                      | 138,874                      | 408,242                     |
| 現金及び現金同等物の四半期末<br>(期末)残高(千円)              | 992,853                      | 877,777                      | 1,230,742                   |

| 回次                                         | 第22期<br>第3四半期<br>連結会計期間       | 第23期<br>第3四半期<br>連結会計期間       |
|--------------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| 会計期間                                       | 自 平成22年10月1日<br>至 平成22年12月31日 | 自 平成23年10月1日<br>至 平成23年12月31日 |
| 1株当たり四半期純損失金額( )<br>又は1株当たり四半期純利益金額<br>(円) | 479.07                        | 3,420.89                      |

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

4. 第22期第3四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

## 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の連結子会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

#### 株式移転による共同持株会社の設立

当社及び株式会社セルシス（以下、「セルシス」といいます。）は、平成24年4月2日（予定）をもって、共同株式移転の方法により両社の完全親会社となるアーツパークホールディングス株式会社（以下、「共同持株会社」といいます。）を設立（以下、「本株式移転」といいます。）することについて、平成23年11月25日に開催した両社の取締役会において決議し、本株式移転に関する「株式移転計画書」を共同で作成し、両社間で「経営統合に関する契約書」（以下、「統合契約書」といいます。）を締結いたしました。

なお、本件につきましては、平成24年1月26日（当社）開催の臨時株主総会及び平成24年1月26日（セルシス）開催の定時株主総会においてそれぞれ承認を受けております。

本株式移転の概要は以下のとおりであります。

#### （1）本株式移転の目的

国内の携帯端末周辺市場においては、スマートフォン、タブレット機器、超薄型軽量のノートPC等の登場とこれらの普及、及び高速で安価なインターネット回線やストレージサービスの伸長等により、多くの人々が豊富なデジタルコンテンツを楽しむことが出来る環境が急速に整備されつつあります。また、スマートフォンの出荷台数及び市場シェアが急速に拡大していく中で、フィーチャーフォン（従来型の多機能携帯端末）の出荷量は減少が続き、今後の携帯端末市場の中心はスマートフォンへと移行していくことが予想されております。

両社は、これまでフィーチャーフォンの領域を事業基盤とし、セルシスはアプリケーションレイヤーで、当社はミドルウェアレイヤーで、デファクトスタンダードを勝ち取ってきており、それぞれの市場領域において揺ぎ無いビジネスポジションを築いてまいりました。しかしながら、上記の事業環境の変化の中、両社はそれぞれの事業モデルが転換期にさしかかってきており、かかる変化を新たな成長機会として捉えて企業価値を継続的に向上させるためには、相互にシナジーのある技術力とビジネスポジションを持つ両社が経営統合し、共通の理念と戦略の下に、経営資源を結集して変化に適應できる事業総合力を獲得することが最良であるとの結論に至りました。

本株式移転による経営統合により、共同持株会社は、経営資源である人材、資金、知的財産、情報を横断的に有効活用することによって、既存事業領域における拡張と新規事業の創出を進めてまいります。より具体的には、グラフィックスという共通のコア技術に基づく研究開発型企業である両社が、研究開発の共同化、要素技術の相互利用等により、セルシスの強みである二次元グラフィックスにおけるアプリケーション技術と当社の強みである三次元グラフィックスにおけるミドルウェア技術、デザイン力等を融合し、製品群を多様化するとともに、従来の両社のビジネスモデルの枠を超えた、新たな事業領域の創出を行い、今後益々隆盛するリッチグラフィックコンテンツ、ユーザーインターフェースの制作から流通に関わるソリューションの開発と提供に邁進してまいります。そして、中長期的には、デジタルコンテンツの活用シーンが拡大する局面において多様な製品、サービス、アプリケーションを集積し、新たなビジネスモデルを構築することでグループの企業価値の最大化を目指してまいります。

#### 経営統合の効果

##### 相互事業の売上拡大

- ・コア技術の相互活用による製品・サービスラインアップの拡充と顧客満足の実現
- ・両社が今まで蓄積したノウハウ・人材を結集することによる開発技術力、営業力の向上

##### 投資の選択と集中

- ・一貫した戦略技術投資による開発負担の軽減と新事業創出機会の拡大

##### 重複分野の合理化による生産性向上

- ・両社の事業構造改革、組織の統廃合等による効率化の推進により、生産性・収益性の高いオペレーションの実現

#### 経営統合後の基本方針

共同持株会社の組織（人員）・機能は必要最小限とし、迅速な意思決定の下、統合によるシナジー効果の最大化を実現するために最適な事業編成と人材の配置を行う予定です。現行事業の業務執行は、当面の間、子会社となるセルシスと当社が継続して行いますが、共同持株会社は、収益性・将来性、技術リソース、人材リソース等の見極めを行い、中長期的に新たなグループ経営体制の構築を目指してまいります。

## (2) 本株式移転に係る割当ての内容

本株式移転に際して両社の株式に割り当てられる共同持株会社の普通株式数の比率は、以下のとおりであります。

| 会社名    | セルシス | 当社   |
|--------|------|------|
| 株式移転比率 | 1    | 1.05 |

## (注1) 株式の割当比率

セルシスの株式1株に対して共同持株会社の株式100株を、当社の株式1株に対して共同持株会社の株式105株をそれぞれ割当て交付します。ただし、上記株式移転比率は、算定の基礎となる諸条件に重大な変更が生じた場合は、両社協議の上、変更することがあります。なお、共同持株会社は、100株を1単位とする単元株制度の採用を予定しております。

## (注2) 共同持株会社が本株式移転により交付する新株式数(予定)

普通株式 6,635,570株

上記は、セルシスの発行済株式総数33,833株(平成23年10月31日時点)及び当社の発行済株式総数30,974株(平成23年9月30日時点)を前提として算出しております。なお、両社は、効力発生日の前日までに、それぞれが保有する自己株式のうち、実務上可能な範囲の株式を消却することを予定しているため、共同持株会社が交付する新株式数は変動することがあります。また、効力発生日の直前までにセルシス又は当社の新株予約権等の行使等がなされた場合は、各社の発行済株式総数が変化するため、共同持株会社が交付する新株式数が変動することがあります。

## (注3) 単元未満株式の取扱いについて

本株式移転により、1単位(100株)未満の共同持株会社の株式(以下、「単元未満株式」といいます。)の割当てを受ける当社の株主の皆様につきましては、その保有する単元未満株式を東京証券取引所その他の金融商品取引所において売却することはできません。そのような単元未満株式を保有することとなる株主の皆様は、会社法第192条第1項の規定に基づき、共同持株会社に対し、自己の保有する単元未満株式を買い取ることを請求することが可能です。

## (3) 本株式移転に係る割当ての内容の算定根拠等

セルシス及び当社は、本株式移転に用いられる株式移転比率の算定にあたって公正性を期すため、セルシスは有限責任監査法人トーマツ(以下、「トーマツ」といいます。)を、当社は野村證券株式会社(以下、「野村證券」といいます。)を第三者算定機関に任命し、それぞれ本株式移転に用いられる株式移転比率の算定を依頼し、株式移転比率算定書を受領いたしました。なお、トーマツ及び野村證券は、いずれもセルシス又は当社の関連当事者には該当せず、本株式移転に関して記載すべき重要な利害関係を有しません。

トーマツは、両社について市場株価法及びディスカунテッド・キャッシュフロー法(以下、「DCF法」といいます。)を採用して算定を行いました。トーマツによる算定結果の概要は以下のとおりです。なお、下記の株式移転比率の評価レンジは、セルシスの普通株式1株に対する、当社の普通株式の評価レンジを記載したものです。

|  | 採用手法  | 株式移転比率の評価レンジ |
|--|-------|--------------|
|  | 市場株価法 | 1.01~1.05    |
|  | DCF法  | 0.73~1.13    |

なお、市場株価法については、平成23年11月24日を算定基準日として、算定基準日の終値、算定基準日から遡る1週間、1ヶ月間、3ヶ月間及び6ヶ月間の終値平均株価を採用いたしました。

トーマツは、株式移転比率の算定に際して、セルシス及び当社の両社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則としてそのまま採用し、それらの資料及び情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証を行っておりません。また、両社とその関係会社の資産又は負債(偶発債務を含みます。)について、個別の各資産及び各負債を含め、独自に評価、鑑定又は査定を行っておりません。加えて、両社の財務予測(利益計画及びその他の情報を含みます。)については両社の経営陣による現時点で可能な最善の予測であり協議・判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。トーマツによる株式移転比率の算定は、平成23年11月24日現在までの上記情報等を反映したものであります。なお、トーマツが提出した株式移転比率の算定結果は、本株式移転における株式移転比率の公正性について意見を表明するものではありません。

一方、野村證券は、両社株式に市場株価が存在することから市場株価平均法による算定を行うと同時に、両社について類似会社比較法及びDCF法による算定を行いました。野村證券による算定結果の概要は以下のとおりです。なお、下記の株式移転比率の算定レンジは、セルシスの普通株式1株に対する、当社の普通株式の算定レンジを記載したものです。

|  | 採用手法    | 株式移転比率の評価レンジ |
|--|---------|--------------|
|  | 市場株価平均法 | 1.01~1.05    |
|  | 類似会社比較法 | 0.56         |
|  | DCF法    | 0.84~1.02    |

なお、市場株価平均法については、平成23年11月24日を算定基準日として、算定基準日の終値、算定基準日から遡る1週間、1ヶ月間、3ヶ月間及び6ヶ月間の終値平均株価を採用いたしました。

野村證券は、株式移転比率の算定に際して、両社から提供を受けた情報及び一般に公開された情報等を原則として採用し、採用したそれらの資料及び情報等が、全て正確かつ完全なものであることを前提としており、独自にそれらの正確性及び完全性の検証は行っておりません。また、両社とその関係会社の資産又は負債（簿外資産及び負債、その他偶発債務を含みます。）について、独自に評価、鑑定又は査定を行っておらず、第三者機関への鑑定又は査定の依頼も行っておりません。加えて、両社の財務予測（利益計画、及びその他の情報を含みます。）については両社の経営陣により現時点で得られる最善の予測と判断に基づき合理的に作成されたことを前提としております。

なお、トーマツ及び野村證券がDCF法の前提としたセルシスの利益計画は、営業利益、経常利益及び当期純利益について、大幅な増益を見込んでいる事業年度があります。これは、セルシスの主要事業の1つであるクリエイターサポート事業において、当該事業の機軸としてCLIP事業を推進することにより、売上・利益の拡大を見込んでいるためです。

また、トーマツ及び野村證券がDCF法の前提とした当社の利益計画は、営業利益、経常利益及び当期純利益が黒字化することを予想しており、大幅な増益を見込んでいる事業年度があります。これは、当社が従来から戦略として推し進めてきた携帯端末以外のデジタル家電分野等への事業展開・拡大により、順調に業績回復が期待でき、その後もミドルウェア事業の売上・利益の拡大を見込んでいるためです。

上記のとおり、セルシスはトーマツに、当社は野村證券に、それぞれ本株式移転に用いられる株式移転比率の算定を依頼し、当該第三者算定機関による算定結果を参考に、それぞれ両社の財務の状況、資産の状況、将来の見通し等の要因を総合的に勘案し、両社で株式移転比率について慎重に協議を重ねた結果、最終的に上記株式移転比率が妥当であり、両社の株主の利益に資するものであると判断し、平成23年11月25日に開催された両社の取締役会において本株式移転における株式移転比率を決定し、合意いたしました。

なお、株式移転比率は、算定の根拠となる諸条件について重要な変更が生じた場合、両社の協議により変更することがあります。

#### （４）本株式移転により新たに設立する会社の状況

|          |                                                                                                   |      |           |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|------|-----------|
| 商号       | アートスパークホールディングス株式会社<br>（ 英文名：ArtSpark Holdings Inc. ）                                             |      |           |
| 事業内容     | クリエイターサポート事業、電子書籍サポート事業、ミドルウェアの企画・開発・ライセンス販売・サポート、コンテンツ及びサービスの企画・制作・運用等を行う会社の経営管理及びそれに付帯又は関連する事業等 |      |           |
| 本店所在地    | 東京都新宿区西新宿四丁目15番7号<br>パシフィックマークス新宿パークサイド2階                                                         |      |           |
| 代表者の就任予定 | 代表取締役会長                                                                                           | 川端一生 | 当社代表取締役社長 |
|          | 代表取締役社長                                                                                           | 村上匡人 | セルシス取締役   |
| 資本金      | 10億円                                                                                              |      |           |
| 純資産      | 現時点では確定しておりません。                                                                                   |      |           |
| 総資産      | 現時点では確定しておりません。                                                                                   |      |           |
| 事業年度の末日  | 12月31日                                                                                            |      |           |

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （１）業績の状況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災や原発事故の影響による厳しい状況から徐々に生産活動及び個人消費に回復の兆しが見られつつあるものの、急激な円高進行やユーロ圏の財政問題等による企業収益悪化の懸念もあり、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループ（当社及び連結子会社）の事業のこれまでの収益の中心であった携帯端末関連市場においては、国内・海外市場ともに、スマートフォンの急速な拡大が続く一方で、フィーチャーフォン（従来型の多機能携帯電話端末）の出荷台数は減少しており、将来的にはその市場シェアは逆転するものと想定しております。

事業環境が急速に変化していく中、当社グループは中期的な戦略として、従来型のビジネスモデルから脱却し、フィーチャーフォンを中心とした携帯端末の出荷台数のみに左右されない新たな収益基盤を構築すべく、市場の変化に対応した更なる製品開発と事業展開、及び携帯端末以外のデジタル家電機器分野等への事業展開の拡大を図っております。また、当社グループの有する技術の対価としてデバイスからの収益獲得のみならずサービス領域からの収益拡大を目指し、サービスプラットフォームとして技術提供・サービス提供を一層強化しております。

ミドルウェア事業においては、主力製品である「マスコットカプセル（MascotCapsule®）」の機能拡張製品やAndroid向け製品・ソリューションの開発、携帯端末向けのグラフィックス関連製品を充実させるとともに、デジタル家電分野及び車載機器分野等への「マスコットカプセルUIフレームワーク（MascotCapsule® UI Framework）」を活用した事業拡大を推進し、同分野からの受託開発及びライセンス収入が本格化しております。

アプリケーション事業においては、当社の強みである3Dグラフィックスの技術やキャラクターデザイン力等を活かし、サービスのプラットフォームに「マスコットカプセル」の技術を活用したアバター関連事業や通信キャリアからのサービス領域への技術提供を拡大し、またそれに併せたコンテンツの提供を積極的に取り組んでおります。

以上の施策の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は1,014百万円（前年同期比23.3%減）となりました。営業損益につきましては、収益率の高いモバイル向けライセンス収入が大幅に減少する中、総費用（売上原価、販売費及び一般管理費）についてのコストダウンの徹底と業務効率の向上を図る一方、製品の機能強化やバージョンアップ等への先行投資等を行った結果、419百万円の営業損失（前年同期は123百万円の営業損失）となりました。経常損益につきましては、支払利息3百万円が発生したこと等から、421百万円の経常損失（前年同期は135百万円の経常損失）となりました。四半期純損益につきましては、法人税等の計上により、430百万円の四半期純損失（前年同期は154百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### ミドルウェア事業

当第３四半期連結累計期間においては、ミドルウェア事業の中心である国内外のライセンス収入は、スマートフォンの出荷台数が急速に増加する中で、「マスコットカプセル」搭載端末であるフィーチャーフォンの出荷台数が低下したことにより大幅に減少いたしました。情報家電分野、通信事業分野での受託開発収入は国内市場向けのブラウザ開発受託案件等により前年同期比で大幅に増加したものの、ライセンス収入の減少を吸収しきれず、ミドルウェア事業全体では前年同期比で減収となりました。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は716百万円（前年同期比21.4%減）となりました。営業損益につきましては、外注管理の見直し、有望な研究開発テーマへの絞込み等の改善を行いました。売上高が大幅に減少したことにより、2百万円のセグメント損失（前年同期は248百万円のセグメント利益）となりました。

#### アプリケーション事業

当第３四半期連結累計期間においては、サービスのロイヤリティ収入及び運用収入及び、ゲームコンテンツ分野、サービス分野の受託開発収入についても減少となり、アプリケーション事業全体では前年同期比で減収となりました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は298百万円（前年同期比27.7%減）と減少となりました。営業損益につきましては、売上高が大きく減少した影響により62百万円のセグメント損失（前年同期は4百万円のセグメント損失）となりました。

## ( 2 ) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて259百万円減少し、2,275百万円となりました。これは、現金及び預金が246百万円、売掛金が92百万円減少したこと及び仕掛品が36百万円、その他流動資産が61百万円増加したことが主な要因であります。

負債については、前連結会計年度末に比べて178百万円増加し、525百万円となりました。これは、買掛金が65百万円、借入金が138百万円増加し、未払消費税等が30百万円減少したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末に比べて437百万円減少し、1,749百万円となりました。これは、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少430百万円が主な要因であります。

## ( 3 ) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて352百万円減少し、877百万円となりました。

### ( 営業活動によるキャッシュ・フロー )

営業活動の結果使用した資金は307百万円（前年同期は145百万円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失を425百万円計上（前年同期は142百万円の税金等調整前四半期純損失）したこと及び売上債権の回収による増加91百万円によるものであります。

### ( 投資活動によるキャッシュ・フロー )

投資活動の結果使用した資金は176百万円（前年同期は254百万円の使用）となりました。これは主に定期預金の預入れによる支出106百万円及び無形固定資産の取得による支出52百万円によるものであります。

### ( 財務活動によるキャッシュ・フロー )

財務活動の結果獲得した資金は138百万円（前年同期は384百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入による収入100百万円、短期借入金の純増額80百万円及び長期借入金の返済による支出41百万円によるものであります。

## ( 4 ) 対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## ( 5 ) 研究開発活動

当社グループが、ミドルウェア技術や、それを利用したアプリケーション、サービスの提供を通じて目指しているのは、「真に豊かなコンピュータライフの実現」です。そのための一歩として、あらゆるコンピュータと人間との間の処理（ヒューマンインターフェース）に「人間らしさ」を加える、つまり、操作性ばかりに特化した無機質なインターフェースに「楽しさ」や「親しみやすさ」等を付加することで、誰もがコンピュータの存在を意識せずに向き合えるという世界を、高度な技術によって実現することを目指して研究開発活動を進めております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は44百万円となりました。セグメントでの内訳は、ミドルウェア事業が42百万円、アプリケーション事業が1百万円となっております。

具体的な研究開発の内容と成果は以下のとおりであります。

- ・次世代3Dエンジンの研究開発
- ・サービス提供の基盤となるプラットフォーム技術の研究開発
- ・ユーザーインターフェース技術の研究開発

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

| 種類   | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 90,760      |
| 計    | 90,760      |

###### 【発行済株式】

| 種類   | 第3四半期会計期間末現在発行数(株)<br>(平成23年12月31日) | 提出日現在発行数(株)<br>(平成24年2月14日) | 上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名    | 内容                 |
|------|-------------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|--------------------|
| 普通株式 | 30,974                              | 30,974                      | 大阪証券取引所<br>JASDAQ<br>(スタンダード) | 当社は単元株制度は採用していません。 |
| 計    | 30,974                              | 30,974                      | -                             | -                  |

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日                        | 発行済株式総数増減数<br>(株) | 発行済株式総数残高(株) | 資本金増減額<br>(千円) | 資本金残高<br>(千円) | 資本準備金増減額<br>(千円) | 資本準備金残高<br>(千円) |
|----------------------------|-------------------|--------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年10月1日～<br>平成23年12月31日 | -                 | 30,974       | -              | 1,205,960     | -                | 953,482         |

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

( 7 ) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成23年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成23年12月31日現在

| 区分             | 株式数（株）      | 議決権の数（個） | 内容 |
|----------------|-------------|----------|----|
| 無議決権株式         | -           | -        | -  |
| 議決権制限株式（自己株式等） | -           | -        | -  |
| 議決権制限株式（その他）   | -           | -        | -  |
| 完全議決権株式（自己株式等） | -           | -        | -  |
| 完全議決権株式（その他）   | 普通株式 30,974 | 30,974   | -  |
| 単元未満株式         | -           | -        | -  |
| 発行済株式総数        | 30,974      | -        | -  |
| 総株主の議決権        | -           | 30,974   | -  |

【自己株式等】

平成23年12月31日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数（株） | 他人名義所有株式数（株） | 所有株式数の合計（株） | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％） |
|------------|--------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| -          | -      | -            | -            | -           | -                      |
| 計          | -      | -            | -            | -           | -                      |

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成23年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間<br>(平成23年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部          |                         |                               |
| 流動資産          |                         |                               |
| 現金及び預金        | 1,417,966               | 1,171,008                     |
| 売掛金           | 414,934                 | 322,432                       |
| 仕掛品           | 14,200                  | 50,484                        |
| 繰延税金資産        | 480                     | -                             |
| その他           | 48,059                  | 109,780                       |
| 貸倒引当金         | 10,607                  | 8,484                         |
| 流動資産合計        | 1,885,033               | 1,645,221                     |
| 固定資産          |                         |                               |
| 有形固定資産        | 35,520                  | 29,708                        |
| 無形固定資産        |                         |                               |
| ソフトウェア        | 206,828                 | 181,555                       |
| その他           | 2,415                   | 2,262                         |
| 無形固定資産合計      | 209,244                 | 183,818                       |
| 投資その他の資産      |                         |                               |
| 投資有価証券        | 317,887                 | 328,992                       |
| その他           | 87,103                  | 87,394                        |
| 投資その他の資産合計    | 404,991                 | 416,387                       |
| 固定資産合計        | 649,755                 | 629,914                       |
| 資産合計          | 2,534,789               | 2,275,135                     |
| 負債の部          |                         |                               |
| 流動負債          |                         |                               |
| 買掛金           | 43,567                  | 109,413                       |
| 短期借入金         | 100,000                 | 180,000                       |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 33,332                  | 66,664                        |
| 未払法人税等        | 8,540                   | 2,553                         |
| 受注損失引当金       | 3,343                   | 640                           |
| 関係会社清算損失引当金   | -                       | 4,017                         |
| その他           | 90,886                  | 70,806                        |
| 流動負債合計        | 279,670                 | 434,094                       |
| 固定負債          |                         |                               |
| 長期借入金         | 66,668                  | 91,671                        |
| 繰延税金負債        | 94                      | 49                            |
| その他           | 1,108                   | -                             |
| 固定負債合計        | 67,871                  | 91,720                        |
| 負債合計          | 347,542                 | 525,814                       |

(単位：千円)

|               | 前連結会計年度<br>(平成23年 3 月31日) | 当第 3 四半期連結会計期間<br>(平成23年12月31日) |
|---------------|---------------------------|---------------------------------|
| 純資産の部         |                           |                                 |
| 株主資本          |                           |                                 |
| 資本金           | 1,205,581                 | 1,205,960                       |
| 資本剰余金         | 953,104                   | 953,482                         |
| 利益剰余金         | 63,143                    | 367,101                         |
| 株主資本合計        | 2,221,829                 | 1,792,340                       |
| その他の包括利益累計額   |                           |                                 |
| その他有価証券評価差額金  | 136                       | 213                             |
| 為替換算調整勘定      | 34,718                    | 42,806                          |
| その他の包括利益累計額合計 | 34,582                    | 43,020                          |
| 純資産合計         | 2,187,247                 | 1,749,320                       |
| 負債純資産合計       | 2,534,789                 | 2,275,135                       |

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

|                     | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年12月31日) |
|---------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 売上高                 | 1,323,526                                      | 1,014,609                                      |
| 売上原価                | 898,351                                        | 887,820                                        |
| 売上総利益               | 425,175                                        | 126,788                                        |
| 販売費及び一般管理費          | 548,397                                        | 546,256                                        |
| 営業損失 ( )            | 123,222                                        | 419,467                                        |
| 営業外収益               |                                                |                                                |
| 受取利息                | 263                                            | 207                                            |
| 助成金収入               | 305                                            | 323                                            |
| 債務取崩益               | -                                              | 912                                            |
| その他                 | 336                                            | 419                                            |
| 営業外収益合計             | 905                                            | 1,862                                          |
| 営業外費用               |                                                |                                                |
| 支払利息                | 61                                             | 3,883                                          |
| 株式交付費               | 923                                            | 217                                            |
| 為替差損                | 11,838                                         | 158                                            |
| その他                 | 19                                             | 0                                              |
| 営業外費用合計             | 12,843                                         | 4,259                                          |
| 経常損失 ( )            | 135,159                                        | 421,864                                        |
| 特別利益                |                                                |                                                |
| 貸倒引当金戻入額            | 4,369                                          | -                                              |
| 特別利益合計              | 4,369                                          | -                                              |
| 特別損失                |                                                |                                                |
| 固定資産除却損             | 253                                            | -                                              |
| 関係会社清算損失引当金繰入額      | -                                              | 4,017                                          |
| 減損損失                | 11,419                                         | -                                              |
| 特別損失合計              | 11,672                                         | 4,017                                          |
| 税金等調整前四半期純損失 ( )    | 142,463                                        | 425,881                                        |
| 法人税、住民税及び事業税        | 3,141                                          | 3,836                                          |
| 法人税等調整額             | 8,729                                          | 527                                            |
| 法人税等合計              | 11,871                                         | 4,363                                          |
| 少数株主損益調整前四半期純損失 ( ) | 154,334                                        | 430,245                                        |
| 四半期純損失 ( )          | 154,334                                        | 430,245                                        |

【四半期連結包括利益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

|                    | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成23年4月1日<br>至平成23年12月31日) |
|--------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
| 少数株主損益調整前四半期純損失( ) | 154,334                                      | 430,245                                      |
| その他の包括利益           |                                              |                                              |
| その他有価証券評価差額金       | 153                                          | 349                                          |
| 為替換算調整勘定           | 8,573                                        | 8,088                                        |
| その他の包括利益合計         | 8,726                                        | 8,437                                        |
| 四半期包括利益            | 163,061                                      | 438,682                                      |
| (内訳)               |                                              |                                              |
| 親会社株主に係る四半期包括利益    | 163,061                                      | 438,682                                      |
| 少数株主に係る四半期包括利益     | -                                            | -                                            |

## ( 3 ) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

( 単位：千円 )

|                         | 前第3四半期連結累計期間<br>(自 平成22年4月1日<br>至 平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自 平成23年4月1日<br>至 平成23年12月31日) |
|-------------------------|------------------------------------------------|------------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        |                                                |                                                |
| 税金等調整前四半期純損失 ( )        | 142,463                                        | 425,881                                        |
| 減価償却費                   | 99,911                                         | 86,957                                         |
| 減損損失                    | 11,419                                         | -                                              |
| 受注損失引当金の増減額 ( は減少 )     | -                                              | 2,703                                          |
| 関係会社清算損失引当金の増減額 ( は減少 ) | -                                              | 4,017                                          |
| 貸倒引当金の増減額 ( は減少 )       | 4,369                                          | 2,121                                          |
| 株式交付費                   | 923                                            | 217                                            |
| 受取利息及び受取配当金             | 263                                            | 207                                            |
| 支払利息                    | 61                                             | 3,883                                          |
| 為替差損益 ( は益 )            | 2,018                                          | 586                                            |
| 固定資産除却損                 | 253                                            | -                                              |
| 売上債権の増減額 ( は増加 )        | 265,276                                        | 91,963                                         |
| たな卸資産の増減額 ( は増加 )       | 72,011                                         | 36,284                                         |
| 仕入債務の増減額 ( は減少 )        | 6,878                                          | 65,846                                         |
| 未払又は未収消費税等の増減額          | 19,393                                         | 37,373                                         |
| その他                     | 14,252                                         | 53,620                                         |
| 小計                      | 148,736                                        | 304,720                                        |
| 利息及び配当金の受取額             | 263                                            | 207                                            |
| 利息の支払額                  | 914                                            | 3,706                                          |
| 法人税等の支払額                | 7,107                                          | 5,332                                          |
| 法人税等の還付額                | 4,386                                          | 5,787                                          |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー        | 145,364                                        | 307,764                                        |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        |                                                |                                                |
| 定期預金の預入による支出            | 8,516                                          | 106,006                                        |
| 有形固定資産の取得による支出          | 9,877                                          | 5,927                                          |
| 無形固定資産の取得による支出          | 63,964                                         | 52,259                                         |
| 投資有価証券の取得による支出          | 171,917                                        | 11,500                                         |
| 敷金の差入による支出              | -                                              | 384                                            |
| その他                     | 47                                             | 69                                             |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー        | 254,324                                        | 176,146                                        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        |                                                |                                                |
| 短期借入金の純増減額 ( は減少 )      | 100,000                                        | 80,000                                         |
| 長期借入れによる収入              | 100,000                                        | 100,000                                        |
| 長期借入金の返済による支出           | -                                              | 41,665                                         |
| 社債の償還による支出              | 10,000                                         | -                                              |
| 株式の発行による収入              | 194,628                                        | 539                                            |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー        | 384,628                                        | 138,874                                        |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額        | 9,851                                          | 7,927                                          |
| 現金及び現金同等物の増減額 ( は減少 )   | 265,817                                        | 352,964                                        |
| 現金及び現金同等物の期首残高          | 727,036                                        | 1,230,742                                      |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高        | 992,853                                        | 877,777                                        |

【追加情報】

|                                                                                                                                                                                           |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成23年4月1日<br>至平成23年12月31日)                                                                                                                                              |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)<br>第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

|                  | 前第3四半期連結累計期間<br>(自平成22年4月1日<br>至平成22年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間<br>(自平成23年4月1日<br>至平成23年12月31日) |
|------------------|----------------------------------------------|----------------------------------------------|
|                  | (千円)                                         | (千円)                                         |
| 現金及び預金勘定         | 1,176,471                                    | 1,171,008                                    |
| 預入期間が3か月を越える定期預金 | 183,617                                      | 293,230                                      |
| 現金及び現金同等物        | 992,853                                      | 877,777                                      |

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

当社は、平成22年11月29日付で、株式会社ディー・エヌ・エーから第三者割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期連結会計期間において資本金が81,688千円、資本準備金が81,688千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,193,516千円、資本準備金が941,038千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動に関する事項

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

|                       | ミドルウェア<br>事業<br>(千円) | アプリケー<br>ション事業<br>(千円) | 合計<br>(千円) |
|-----------------------|----------------------|------------------------|------------|
| 売上高                   |                      |                        |            |
| 外部顧客への売上高             | 911,038              | 412,488                | 1,323,526  |
| セグメント間の内部売上高又は振替高     | 15,716               | 525                    | 16,241     |
| 計                     | 926,754              | 413,013                | 1,339,768  |
| セグメント利益(又はセグメント損失( )) | 248,161              | 4,857                  | 243,303    |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

| 利益                 | 金額<br>(千円) |
|--------------------|------------|
| 報告セグメント計           | 243,303    |
| 全社費用(注)            | 366,526    |
| 四半期連結損益計算書の営業損失( ) | 123,222    |

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

|                   | ミドルウェア<br>事業<br>(千円) | アプリケー<br>ション事業<br>(千円) | 合計<br>(千円) |
|-------------------|----------------------|------------------------|------------|
| 売上高               |                      |                        |            |
| 外部顧客への売上高         | 716,396              | 298,213                | 1,014,609  |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 5,380                | 1,487                  | 6,867      |
| 計                 | 721,776              | 299,700                | 1,021,476  |
| セグメント損失（ ）        | 2,643                | 62,276                 | 64,920     |

2．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

| 利益                 | 金額<br>(千円) |
|--------------------|------------|
| 報告セグメント計           | 64,920     |
| 全社費用（注）            | 354,547    |
| 四半期連結損益計算書の営業損失（ ） | 419,467    |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。

( 1 株当たり情報 )

1 株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

|                                                                             | 前第 3 四半期連結累計期間<br>( 自 平成22年 4 月 1 日<br>至 平成22年12月31日 ) | 当第 3 四半期連結累計期間<br>( 自 平成23年 4 月 1 日<br>至 平成23年12月31日 ) |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|
| 1 株当たり四半期純損失金額                                                              | 5,302円09銭                                              | 13,890円90銭                                             |
| ( 算定上の基礎 )                                                                  |                                                        |                                                        |
| 四半期純損失金額 ( 千円 )                                                             | 154,334                                                | 430,245                                                |
| 普通株主に帰属しない金額 ( 千円 )                                                         | -                                                      | -                                                      |
| 普通株式に係る四半期純損失金額 ( 千円 )                                                      | 154,334                                                | 430,245                                                |
| 普通株式の期中平均株式数 ( 株 )                                                          | 29,108                                                 | 30,973                                                 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | ――                                                     | ――                                                     |

( 注 ) 潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの 1 株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

( 重要な後発事象 )

当第 3 四半期連結会計期間 ( 自平成23年10月 1 日 至平成23年12月31日 )

株式移転による共同持株会社の設立

当社開催の平成24年 1 月26日臨時株主総会及び株式会社セルシス開催の平成24年 1 月26日定時株主総会において、平成24年 4 月 2 日 ( 予定 ) をもって、当社と株式会社セルシスが共同株式移転の方法により、完全親会社「アトスパークホールディングス株式会社」を設立し、その完全子会社となることについて承認可決されました。

また、本株式移転の日程は次のとおりであります。

|                                             |                      |
|---------------------------------------------|----------------------|
| 東京証券取引所上場廃止日 ( セルシス )                       | 平成24年 3 月28日 ( 予定 )  |
| 大阪証券取引所 J A S D A Q ( スタンダード ) 上場廃止日 ( 当社 ) | 平成24年 3 月28日 ( 予定 )  |
| 共同持株会社設立登記日 ( 効力発生日 )                       | 平成24年 4 月 2 日 ( 予定 ) |
| 共同持株会社上場日                                   | 平成24年 4 月 2 日 ( 予定 ) |

ただし、今後手続きを進める中で、やむを得ない状況等が生じた場合には、両社協議の上、日程を変更する場合があります。

## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年2月9日

株式会社エイチアイ  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小野 淳史 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石井 広幸 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エイチアイの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成23年10月1日から平成23年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エイチアイ及び連結子会社の平成23年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 強調事項

重要な後発事象に記載されているとおり、当社開催の平成24年1月26日臨時株主総会及び株式会社セルシス開催の平成24年1月26日定時株主総会において、当社と株式会社セルシスが共同株式移転の方法により、完全親会社「アートスパークホールディングス株式会社」を設立し、その完全子会社となることについて承認可決された。

当該事項は、当監査法人の結論に影響を及ぼすものではない。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれておりません。